

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.3
平成27年4月28日

心のユニバーサルデザイン

桜小学校では、他人への気遣い、思いやりの「桜っ子しぐさ」を広めようと、取り組んでいますが、下記の「ペイ・フォワード」も、言葉は違いますが、「相手への思いやり」「優しさを広げる」という意味においては似ており、わたしたち一人一人の「心のユニバーサルデザイン」と言えます。

学校だけでなく、家庭・地域社会へと優しさを広げることができたらと思います。

やさしさ 人に配りたい 中日新聞ヤングアイズより

先日、お母さんと二人で「ペイ・フォワード」という映画のDVDを見ました。「ペイ・フォワード」とは、日本語で「善意をわたす」という意味です。辞書で「善意」を調べました。そうしたら、さらに映画のよさがわかりました。

主人公のトレーパーが考えたのは、他人から受け取った善意をその人に返すのではなく、まわりにいる別の人へと送っていくことです。私は、この映画のかんとくは、やさしさを広げるってこんなにすごいことなんだよ、と伝えたかったんだと思います。

トレーパーは、自分の大切な担任のシモネット先生や、家族を助けました。さい後、友だちを助けて死んでしまったけれど、のこされた人たちは、みんな幸せになり、トレーパーのことをぜっ対わすれないと思います。私もやさしさを多くの人に配れる人になりたいです。

竹下 詠乃 小学生（豊橋市）9歳

全校朝礼の話より（4／27）

みなさんは、「ありがとう」という言葉の反対の意味の言葉は、何だと思いませんか？校長先生は、普通に考えて「ごめんなさい」とか、ちょっと捻って「どういたしまして」などを想像していました。しかし、上記動画に載っていた答えは、「あたりまえ」。

しかし、昨日、校長先生の家では法事がありました。3回忌の法要をお寺で行いました。50分程の読経の後、ご住職様がお話をしてくださいました。それは、「当たり前」の反対は、「ありがとう」と感謝すること、「お陰様で」と感謝することだと教えてくれました。

「ありがとう」は漢字で書くと「有難う」。あることが難しいという意味です。

健康な人にとっては、健康が当たり前でも、障害がある人たちにとっては、それが有ること自体が難しい。耳が聞こえる、手が、足が使える、目が見える、そのような「当たり前」を当たり前だと思わず、あることが難しい、「有難う」と思える心を、今の世の中を生きている私たちは、忘れないでいきたいな」と、校長先生は、改めて思いました。

「当たり前」であることに感謝をする。「有難う」と言う。なかなかできることではありません。親が活着ている人にとっては、活着ているだけでありがとうという気持ちをもっている人もいるでしょう。でも、言葉にするのが恥ずかしい気がしてなかなかできませんね。

でも、大切なのは、今ある「当たり前」ということは、実は、有ることが難しいことが、たまたま当たり前のように目の前にあるだけ。本当は「有難う」と感謝をしなければいけないことなのです。最近、「ありがとう」や「ごめんなさい」を言えない人が世の中に増えてきているように思います。

桜小のみなさんは、感謝の気持ち、謝罪の気持ちを忘れてはいけません。校長先生は、昨日のご住職様のお話から、忘れていた自分の中の何かを、思い出せたような気がして、心が温まりました。

